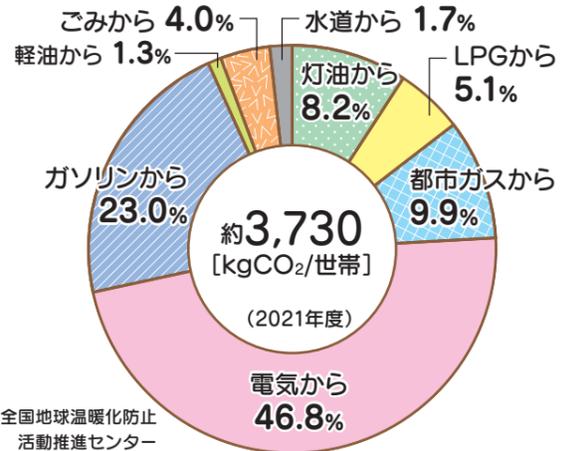


くらしの中で排出される二酸化炭素

わたしたちは、毎日テレビを見たり、お風呂に入ったり、自動車に乗ったり、生活のいたるところで電気やガス、ガソリンなどのエネルギーをたくさん使っています。そのエネルギーをつかう時、つくる時に二酸化炭素は発生しています。



わたしたちのくらしの中で、
どんなところから
二酸化炭素が出ているのかな？



発電所



石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やして発電する火力発電は、多くの二酸化炭素を排出しています。私たちが家庭で電力をつかうことは二酸化炭素の排出に影響しています。

浄水場



台所や洗面所などの蛇口から出てくる水は、浄水場でつくられています。浄水場ではきれいな水をつくるために電力を使っています。

ガスコンロやストーブ



ガスコンロやストーブ、ガス給湯器でガスや灯油を燃やすときに、二酸化炭素を排出しています。



水処理センター



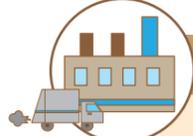
お風呂やトイレなどから流された下水は、水処理センターで処理され河川や海へ流されます。その際、水処理センターでは電力が使われています。*1

自動車



自動車はガソリンなどの燃料を燃やすことで動いています。自動車から出る排気ガスには二酸化炭素が含まれています。

ごみ



家庭から出たごみは、ガソリンなどで動く車を使って収集・運搬するため二酸化炭素を排出しています。また、ごみ焼却場でごみを燃やすときにも二酸化炭素を排出します。*2

上水道
浄水場から送られる水

下水道
きれいにするために水処理センターへ送られる水

*1 水処理センターでは下水を処理する時に発生するバイオガスを利用して発電したり、水素を製造したりしています。
→P26「福岡市水素リーダー都市プロジェクト」
*2 ごみ焼却場では、ごみを燃やした時の熱を利用して発電しています。
→P24「バイオマス発電」